

2019 年度 小委員会活動成果報告（案）

（2020 年 2 月 14 日作成）

小委員会名	給排水設備の災害レジリエンス調査小委員会	主 査 名：西川豊宏 就任年月：2017 年 4 月
所属本委員会 （所属運営委員会）	環境工学委員会 （水環境運営委員会）	委員長名：持田 灯 主 査 名：中野 民雄
設 置 期 間	2017 年 4 月 ～ 2021 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 （箇条書き）	初年度：自然災害に対する建物の給排水機能のレジリエンス向上に資する事例の調査 2 年度：極端気候による災害レジリエンスについて、地域特性を踏まえて調査・評価する。 3 年度：給排水設備の災害レジリエンスの向上に有効な対策を研究成果として発信する。 4 年度：給排水設備の災害レジリエンスの向上に有効な対策を市民にも理解できる情報としての発信を検討する。	
委員構成 （委員名（所属））	委員公募の有無：無	
	主査：西川豊宏（工学院大学） 幹事：進藤宏行（日建設総合研究所） 委員：大塚雅之（関東学院大学） 中野民雄（静岡文化芸術大学） 渡辺荘児（森ビル） 矢ヶ崎啓介（三井住友建設） 田口茂敏（墨田区都市計画部） 首藤治久（広島工業大学） 水谷国男（東京工芸大学） 山海敏弘（建築研究所） 渡部一八（斎久工業）	
設置 WG （WG 名：目的）	無	
2019 年度予算	51,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：無

項 目	自己評価
委員会開催数	6 回（年度内計画を含む）
刊行物 （シンポジウム資料等は 除く）	無
講習会	無
催し物 （シンポジウム・セミナー等） *能力開発支援事業委員会 承認企画	1. 第 44 回水環境シンポジウム「自然災害によるライフライン途絶時に求められる建築設備機能について考える」 参加者数 30 名
大会研究集会	無
対外的意見表明・パ ブリックコメント等	無
目標の達成度 （当初の活動計画と得ら れた成果との関係）	1. 計画当初の小委員会開催が実施された。 2. 活動成果は論文発表に公表された。来年度以降も継続する。 3. 活動成果の外部発信として、シンポジウムを開催した。
委員会活動の問題点 ・課題	1. 大地震のみならず、大雨や洪水に関する知見も研究成果として情報発信する。 2. シンポジウムセミナーなどの開催と一層の活動の活性化を図る。